

科目分類	専門分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	精神看護学概論	学 期	後 期	吉田 真奈美（看護教員）
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目的	人間のこころは常に一定しているものではなく、周囲の影響を受けて変化している。しかし、変化しながらも、環境に適応し調和がとれている状態がこころの健康な状態である。このような健康なこころの働きを維持するための要素として、人格の成熟や、こころの成長発達について学ぶ。また、人間関係や生活の場におけるこころの反応について学び、こころのもつ働きを学ぶ。あわせて、こころの健康を保持増進するための活動について学ぶ。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の必要性和課題について理解する。 2. こころの健康について考えを深める。 3. 精神保健医療福祉の歴史と変遷について理解する。 4. 精神医療保健福祉にかかわる法制度とそれに基づく人間の権利擁護について理解する。 5. 人間関係の発展とこころの成長の関係について理解する。 6. ライフサイクルとこころの健康の関係について理解する。 7. 環境への適応とこころの健康の関係について理解する。 8. 生活の場とこころの健康の関係について理解する。 9. 看護という職業と感情・こころの健康について理解する。 			
授業計画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	こころの健康とは	精神看護学の必要性和課題 こころの健康とは何か	講義
	2	精神保健医療福祉の歴史	海外の精神保健医療福祉の歴史と変遷 日本の精神保健医療福祉の歴史と変遷	講義
	3	精神医療保健福祉に関する法律と制度	精神保健福祉法 障害者総合支援法 心神喪失者等医療観察法	講義
	4	人間関係の発展とこころの成長(1)	映画を観て課題について考える レポート作成	個人ワーク
	5	人間関係の発展とこころの成長(2)	精神性的発達理論 対象関係論	講義
	6	ライフサイクルとこころの健康(1)	映画を観て課題について考える レポート作成	個人ワーク
	7	ライフサイクルとこころの健康(2)	漸成的発達理論 ライフサイクルとライフステージ	講義
	8	ストレス・危機とこころの健康(1)	映画を観て課題について考える レポート作成	個人ワーク
	9	ストレス・危機とこころの健康(2)	危機理論とその歴史的発展 対象喪失とこころの働き	講義
	10	ストレス・危機とこころの健康(3)	映画を観て課題について考える レポート作成	個人ワーク
	11	ストレス・危機とこころの健康(4)	ストレスとこころの健康 「こころの傷」と「トラウマ」	講義
	12	ストレス・危機とこころの健康(5)	災害・事故など特殊状況とこころの健康	講義
	13	生活の場とこころの健康(1)	地域の自助グループ等の方々による講義 (AA 他)	演習/講義
	14	生活の場とこころの健康(2)	依存と嗜癖 家族をめぐるこころの問題	講義
15	看護という職業とこころの健康	職場とこころの健康 看護という職業とこころの健康 感情労働	講義	

教科書	<p>毎回講義プリントを配布します。 (参考として下記テキストは準備してください) 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護の展開</p>
参考文献	
評価方法	<p>定期試験 80%、授業への参加度・提出物の内容・提出状況 20% 評価は上記の総合評価とする。</p>
関連科目	<p>心理学 関係法規 社会福祉 精神疾患論 精神看護援助論Ⅰ・Ⅱ</p>
自己学習に関する指針	<p>授業中に映画を観たうえで、課題についてのレポートを提出してもらいます。ここでは手にとって目で見ることにはできませんが、人間の言動の中には「こころのありよう」が現れます。そのような視点で、課題について考えながら映画を観るようにしてください。わからないというのではなく、まず考えてみるのが大切です。</p>
その他の通知事項	<p>質問には、随時応じます。</p>